

ナゴヤあいサポート事業の概要

区 分	内 容				
趣 旨	障害の特性を理解し、障害のある方に対してちょっとした手助けや配慮を実践する「あいサポーター」を養成することにより、障害の有無にかかわらず、全ての人が住みやすい社会の実現を目指す「あいサポート運動」（平成 21 年に鳥取県で始まり、全国に広がっている運動）を、令和 6 年 10 月から「ナゴヤあいサポート事業」として実施し、「意識のバリアフリー行動」の推進に取り組んでいくもの。				
事業内容	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="387 584 499 925">実施方法</td><td data-bbox="499 584 1447 925"> ■集合研修（市民向け）の実施 ・令和 6 年度 3 回開催（合計 500 人程度） ■派遣型研修（5 名以上の学校や企業・団体向け）の実施 ・希望により随時開催 ■市職員研修において実施 </td></tr> <tr> <td data-bbox="387 925 499 1397">研修内容</td><td data-bbox="499 925 1447 1397"> ■「あいサポート運動」・障害理解について（30 分程度） ・「あいサポート運動」の趣旨・目的等 ・障害の社会モデルの説明 ・様々な障害の特性、困りごと、必要な配慮等 ・意識のバリアフリー行動について ■（選択メニュー）障害理解を深める研修（60 分程度） ・車いす体験 ・アイマスク体験 ・手話体験 ・知的障害者疑似体験 ・障害者との交流 等から選択 </td></tr> </table>	実施方法	■集合研修（市民向け）の実施 ・令和 6 年度 3 回開催（合計 500 人程度） ■派遣型研修（5 名以上の学校や企業・団体向け）の実施 ・希望により随時開催 ■市職員研修において実施	研修内容	■「あいサポート運動」・障害理解について（30 分程度） ・「あいサポート運動」の趣旨・目的等 ・障害の社会モデルの説明 ・様々な障害の特性、困りごと、必要な配慮等 ・意識のバリアフリー行動について ■（選択メニュー）障害理解を深める研修（60 分程度） ・車いす体験 ・アイマスク体験 ・手話体験 ・知的障害者疑似体験 ・障害者との交流 等から選択
実施方法	■集合研修（市民向け）の実施 ・令和 6 年度 3 回開催（合計 500 人程度） ■派遣型研修（5 名以上の学校や企業・団体向け）の実施 ・希望により随時開催 ■市職員研修において実施				
研修内容	■「あいサポート運動」・障害理解について（30 分程度） ・「あいサポート運動」の趣旨・目的等 ・障害の社会モデルの説明 ・様々な障害の特性、困りごと、必要な配慮等 ・意識のバリアフリー行動について ■（選択メニュー）障害理解を深める研修（60 分程度） ・車いす体験 ・アイマスク体験 ・手話体験 ・知的障害者疑似体験 ・障害者との交流 等から選択				
「あいサポーター等」の認定	・研修受講者を「あいサポーター」として認定し、「あいサポートバッジ」を交付（小・中学生は「あいサポートキッズ」として、「あいサポートストラップ」を交付） ・研修受講した企業・団体を「あいサポート企業・団体」として認定し、認定証、ステッカーを交付  あいサポートバッジ  あいサポートストラップ  あいサポートステッカー				
ステップアップ研修	・「あいサポーター」が障害理解を深め、「意識のバリアフリー行動」の実践に結びつけるため、ステップアップ研修を実施 (令和 7 年度開始予定)				

【参考】あいサポート運動とは

「あいサポート運動」は、誰もが、多様な障害の特性、障害のある方が困っていること、必要な配慮などを理解して、障害のある方に対してちょっとした手助けや配慮を実践することにより、誰もが暮らしやすい地域社会を、皆で一緒につくっていく運動のことをいう。

また、この「あいサポート運動」を実践する方を「あいサポーター」といい、所定の「あいサポート研修」受講後、「あいサポーター」として認定される。

【あいサポート運動の背景】

平成 21 年 11 月に鳥取県で始まり、全国に広がっている運動。

令和 6 年 5 月現在、9 県 16 市 6 町が連携協定を締結し、この運動に取り組んでいる。

- ・あいサポーター数：666,106 人
- ・あいサポーター企業・団体：2,986 企業・団体

【あいサポートの名前】

あいサポートの名前は、鳥取県で公募により決定されたもの。
愛情の「愛」、私の「I」、支え合いの「合い」に共通する「あい」と、支える・応援する意味の「サポート」を組み合わせ、障がいのある方を優しく支え、自分の意志で行動することを意味している。

【あいサポート運動のシンボルマーク】

バッジのデザインは、障がいのある方を支える「心」を 2 つのハートを重ねることで表現している。

後ろの白いハートは、障がいのある方を支える様子を表すとともに、「SUPPORTER（サポーター）」の「S」を表現している。

ベースとしている「橙色（だいだいいろ）」は、鳥取県出身で日本の障がい者福祉に尽力された糸賀一雄氏の残した言葉「この子らを世の光に」から「光」や、「暖かさ」をイメージするものとしている。

また、「だいだい（代々）」にちなみ、あいサポーターが広がって、共生社会が実現されることへの期待も込められている。



あいサポート運動 シンボルマーク